

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		道路改築事業		路河川名等	(主)別所丸子線	
事業毎の通番		7	市町村名	上田市	箇所名(ふりがな)	鈴子バイパス(すずこバイパス)
事業概要	事業目的	本路線は上田市別所温泉と上田市丸子地域を結ぶ広域幹線道路である。沿線には別所温泉、無言館、前山寺等の観光施設が点在し観光ルートとして活用されている。さらに、東塩田林間工業団地への通勤道路としても利用されている。当地区では、人家が連担し幅員が狭小であることから、平井寺トンネル有料道路の無料化を見据え、早期の対策が望まれている。				
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)	事業実施の根拠法令等	道路法		
	関連する事業、計画等	長野県総合5か年計画調査か所 上田市圏総合都市交通計画 上田市計画区域マスタープラン				
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量: 8,000台/日(平成42年)				
	着手年度	平成27年度	事業期間	8年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)
	完成年度(見込み)	平成34年度	費用対効果	5.9	国庫	その他 県債 一般財源
	全体事業内容(主な工種)	道路改築工 L=1,971m、W=6.5(11.25~14.50)m			1,000,000	600,000 360,000 40,000
	年度事業内容(主な工種)					
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間、経費等の減少 51億円			
		間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進			
評価の視点	必要性	○計画自動車交通量 : 8,000台/日 ○代替道路の有無 : 代替道路があるが安全性低い ○医療・福祉・教育施設との連携 : 丸子中央病院へのアクセス ○地域の活性化 : 上田市環状道路。上田地域30分交通圏の実現に向けた道路整備			評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合 : 長野県総合5か年計画調査か所、上田市計画区域マスタープラン ○緊急輸送路の路線指定 : 緊急輸送路の指定はないが、避難経路となる路線である。 ○地域指定 : 地域指定はない			評価	B
	効率性	○費用対効果(B/C) : 5.9 ○事業期間 : 8年 ○代替案の検討 : ルート案について検討中 ○他事業との連携 : 上田市環状道路			評価	A
	緊急性	○近年の交通事故件数 : H23:6件、H24:7件、H25:3件 ○危険箇所対策 : 危険箇所の該当はなし ○渋滞及び騒音・振動の緩和 : ボトルネック箇所の解消 ○歩道整備 : 通学路対策			評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有 : 平成11年に地権者説明会開催済み ○地域の取り組み : 上田市からの事業要望あり ○地域の合意形成 : 平成8年に都市計画決定を行っている ○住民との協働 : 不明			評価	C
	部意見	事業の必要性、効率性、緊急性が高いが、地域の合意形成など計画熟度が低いため、事業化を見送りたい。	行政改革課意見	必要性が認められる。	評価結果	総合評価

**位置図**

平井寺トンネル有料道路

**現道の状況**

**平面図**

**事業概要説明図表**

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	上田市圏総合都市交通計画、長野県広域道路網マスタープラン等で示された都市環状道路を形成する路線であり、平成8年12月に都市計画決定されている。過去に4車線計画で地元説明会が開催された経過がある。また、平成30年8月には平井寺トンネルが料金徴収期限を迎えることから、当区間の通過交通の増加が懸念されている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	現道区間は人家が連担し幅員が狭く、大型車のすれ違いは困難である。また、一部区間は通学路にも指定されているため、沿道の安全対策として、バイパス整備が望まれている。
③事業説明等の経緯	平成7年に都市計画決定に関する説明会、平成11年には地権者説明会が開催されている。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	上田市計画区域マスタープランにおいても、広域幹線道路に位置づけられている。現在、本路線の丸子地域側においても県単道路改築事業により道路整備を進めている。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	住宅への影響を最小限に留めるとともに、耕作地を保全する路線計画としている。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により当地域の交通の安全、円滑化が図られるとともに、周辺道路においても混雑の緩和が期待される。
⑦その他	

事業代表地点の緯度経度

北緯:N 36° 20' 17"
東経:E 138° 14' 00"